クリスティアーノ・オルツ

グスタフ・レオンハルト最後の弟子の一人

Cristiano Holtz - Cravo (Harpsichord)

Michio O'Hara - Pianoforte (Cristofori)

Nagoya - 25 de Outubro de 2026 às 15h

第 20 回　古楽 de 酒蔵コンサート

Project Key　鍵盤楽器の宴

クリスティアーノ・オルツ…チェンバロ　小原 道雄…クリストフォリ型フォルテピアノ

D.スカルラッティ…ソナタ K.81

バプティスタ…トッカータ イ長調

クープラン…クラヴサン曲集 第 3 巻より

J.S.バッハ…幻想曲 BWV922

C.P.E.バッハ…4 つの小さな二重奏曲 Wq115

他

2026 年 10 月 25 日

日曜 15:00

東春酒造 酒蔵

名古屋市守山区瀬古東 3-1605

国道 19 号 幸心交差点近く

JR 新守山駅より徒歩 または市バス幸心口下車

入場料 3000 円

全自由席　地酒の試飲即売付き

お問合せ・お申込み O'Haras (オハラズ)

090 1277 5655 oharas_nagoya-info@yahoo.co.jp

主催 O'Haras 名古屋日本ポルトガル協会

後援 ポルトガル大使館

SOCIEDADE LUSO-NIPÓNICA DE NAGOYA

CAMÕES CENTRO CULTURAL PORTUGUÊS PORTUGAL MINISTÉRIO DOS NEGÓCIOS ESTRANGEIROS

第 20 回　古楽 de 酒蔵コンサート

Project Key　鍵盤楽器の宴

クリスティアーノ・オルツ…チェンバロ　小原　道雄…クリストフォリ型フォルテピアノ

2026 年 10 月 25 日 日曜 15:00 東春酒造 酒蔵

クリスティアーノ・オルツ　チェンバロ　Cristiano Holtz - Cravo (Harpsichord)

ヨハン・ゼバスティアン・バッハの影響を受けたクリスティアーノ・オルツは、13 歳でペドロ・ペルソネの下でチェンバロの勉強を始める。15 歳の時にジャック・オグの招きによりオランダに渡って生活を始め、このチェンバロの大家の下で勉強を続ける。10 年間のオランダ留学の間、アンネケ・ウイッテンボスやメンノ・ファン・デルフトを始め、多くのチェンバロ奏者のレッスンを受ける。少年期より、彼に最も大きな影響を与えたチェンバロ奏者はグスタフ・レオンハルトであり、レオンハルトは例外的に彼を最後の公式な弟子として迎え入れた。同様にピエール・アンタイ、マルコ・メンコボーニ、ミクロス・スパニイらとのプライベートレッスンも、彼のチェンバロ研鑽の礎となっている。このプライベートレッスンが、後に C.P.E.バッハの 2 台チェンバロのためのレパートリー録音への誘いという形に発展した。間接的ではあるが、ピアニストのアルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリの哲学と音楽的アプローチに影響を受けている。

1998 年には現在もチェンバロ、クラヴィコード、室内楽教師職を続けているリスボンのグレゴリオ学校と、国立音楽院での伴奏者としてポルトガルに招かれる。クリスティアーノ・オルツは特にソリストとして活動しており、チェンバロだけでなくクラヴィコード、古典オルガンをヨーロッパ各国、アジア、南北アメリカで演奏している。その演奏活動には名の知られた国際音楽祭も含まれる。ミクロス・スパニイ、コンチェルト・アルモニコ・ブダペスト、アーポ・ハッキネン、ヘルシンキ・バロックオーケストラといった音楽仲間とは、度々共演している。

マスタークラス講師としては、バルト海国際チェンバロ祭(グダンスク)、ハーバード大学(ボストン)、リスト・フェレンク大学(ブダペスト)、シンガポール音楽学校、ポルト芸術大学、リスボン音楽高等学校、エヴォラ大学等にしばしば招聘される。彼のリサイタルや録音(Ramée, Editions Hortus, Bis, Aeolus, Edition Hera)は、国際刊行物などで大いに称賛されていて、その中にはイギリス「Choir and Organ」で星 5 つ、Diapason d'Or、ドイツ・ディスコグラフィ評論家賞、「レコード芸術誌」2011 年度第 49 回レコード・アカデミー賞の「特別部門 録音」、「Goldberg」誌の星 5 つ、「Classica」誌による「特別盤」2 回、が挙げられる。数十年前から継続している J.S.バッハの鍵盤奏法、テクニックに関する熱心な調査研究を通して、クリスティアーノ・オルツは自身の経歴の中心にバッハを置いている。この取り組みは 2022 年に AVA Musical Editions 出版の「J.S.Bach - 歴史的文献に基づく彼の鍵盤演奏テクニック」という本として実を結んだ。

音楽活動と並行して、クリスティアーノ・オルツは合気道二段の有資格者でもある。

小原　道雄　フォルテピアノ(久保田彰氏制作クリストフォリ型)

Michio O'Hara - Pianoforte (Fortepiano, Cristofori)

チェンバロとフォルテピアノをヴィプケ・ヴァイダンツ氏とミヒャエラ・ハッセルト氏に師事。愛知県立芸術大学(音楽学)首席卒を経てライプツィヒ音楽大学(古楽器)卒業。フランクフルト音楽大学に於いても学ぶ。大阪国際音楽コンクール入選・ファイナリスト(2009)。

これまでにメンデルスゾーンハウス(ライプツィヒ)、ベルリン楽器博物館、ポルトガル大使公邸、ブラジル大使館、ポルトガル国立楽器博物館(リスボン)、ポルト音楽院 100 周年記念演奏会での演奏を行う。日本、ドイツ、イタリア、ポルトガル、韓国、ブラジルの舞台に立つ。

ポルトガル音楽に魅せられ、知られざる 18 ・ 19 世紀のポルトガル音楽をポルトガル国立図書館などで発掘、各地で演奏する。2024 年ポルトガルのルネサンスオーケストラを、ポルトガル大使館と共催のカーネーション革命 50 周年記念イベントに招聘する。「古楽 de 酒蔵コンサート」主宰(2004-)。欧州ソロツアー(2013、2015)。ポルト市立音楽院、カステロブランコ技術芸術高等学校、West Coast Festival 他ポルトガル国内マスタークラス講師(2015-)。中部学院大学シティカレッジ講師(2022-)。やまのて音楽祭実行委員長。名古屋日本ポルトガル協会副会長。

名古屋とポルトガルにそれぞれ 1 台ずつ、19 世紀ブロードウッド社製スクウェアピアノを所有。2021 年には楽器製作者の久保田彰氏より、久保田氏自身が製作したクリストフォリ型フォルテピアノを託される。録音は Naxos よりオンライン配信中。著書に「初期スクウェアピアノに聴く社会史・世界史」(南山大学ヨーロッパ研究センター報第 31 号)。名古屋と首都圏でレッスンを提供。2025 年にはチェンバロの生徒 2 人を同時にドイツの音楽大学に合格させる。教室紹介：www.oharas-nagoya.info